

# 仕様

使用電池	風呂ブザー用：S-006P形乾電池1コ ラジオ用：単三形乾電池2コ
温度調節範囲	風呂ブザー：約40～75℃
音の大きさ	風呂ブザー：約80ホーン（2m前方）
実用最大出力	ラジオ：170mW（EIAJ/DC）
受信周波数	ラジオ：AM525～1605kHz
電池寿命	風呂ブザー：約3ヵ月（1日1回、ナショナルハイトップ乾電池S-006P(D)使用、20℃時）
	ラジオ：約15時間（EIAJ）（ナショナルハイトップ乾電池単三形使用、20℃時）
最大外形寸法	巾174mm×高さ126×奥行78mm
重量	約590g（乾電池を含む）
付属品	ナショナルS-006P(D)乾電池1コ、ナショナルハイトップ単三形乾電池2コ
風呂ブザーの報知機能	水位報知、温度報知、水もれ報知（温度報知の機能を検査する時感知部を熱湯につけてもすぐには鳴らず1～2分かかります。）

ラジオの電池持続時間はEIAJ規格による標準時間（1日4時間室内で手頃な音量で聴いた場合の延べ時間）です。ただし、ナショナルハイトップ乾電池使用時です。

## 本社・支社所在地および電話番号

本社	☎541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202) 2221
南支社	☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652) 0001
北支社	☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301) 1251
堺支社	☎530 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	☎539 高槻市慶の里3丁目9番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	☎682 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	☎578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	☎573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	☎604 京都市中京区烏丸御池梅屋町3番5号	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	☎631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	☎640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	☎670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	☎675 加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
津南支社	☎525 津南市塩分町字荒畑680の1	☎津南 0775(62) 5311
彦根支社	☎522 彦根市大東町9番41号	☎彦根 0749(22) 3131
長浜営業所	☎525 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171

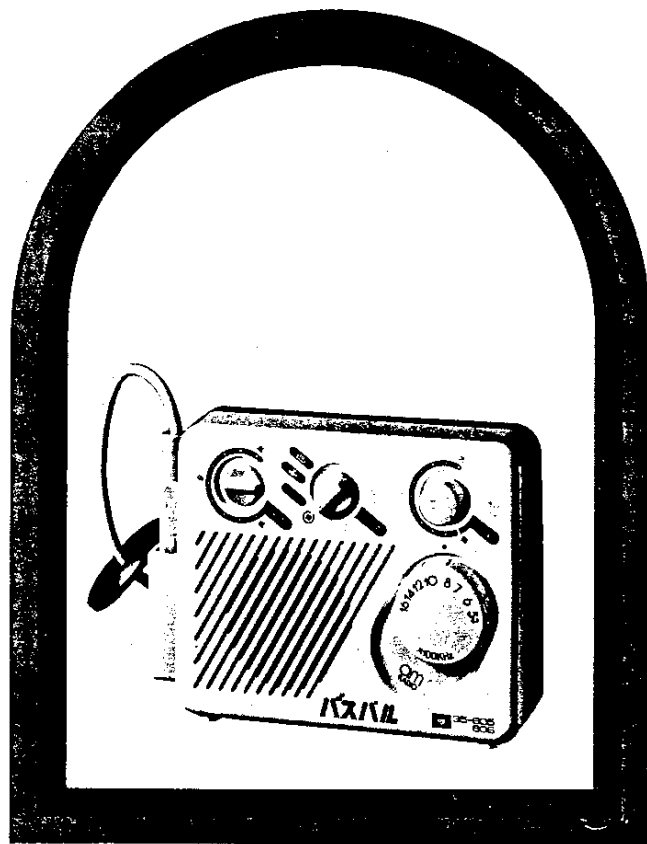
大阪ガス住宅設備株式会社



大阪ガス住宅設備

# 浴室用ラジオ(風呂ブザー機能付)

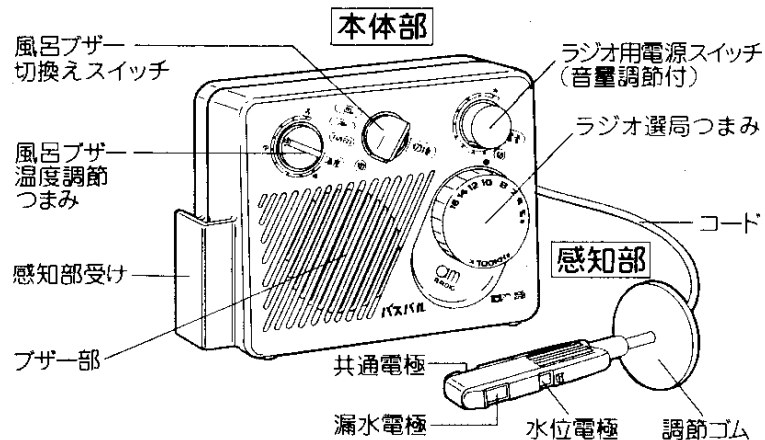
## 取扱説明書 ④ 35 605/606 型



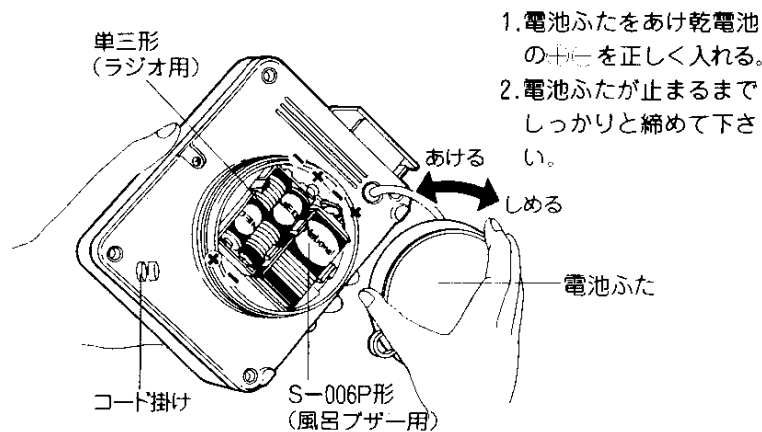
●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

このたびは大阪ガス住宅設備の浴室用ラジオ（風呂ブザー機能付）をお求めいただきました。ありがとうございます。

## 各部の名称

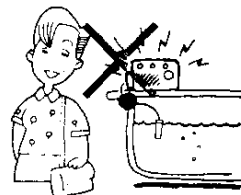


## 乾電池の入れかた

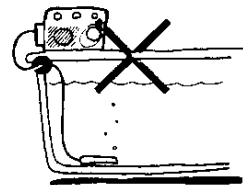


## 特に注意していただきたいこと

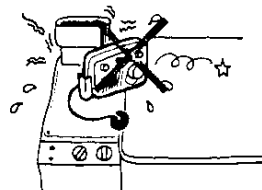
この製品は、水位・温度・水もれをブザーで知らせますが、水やガスを止めたり、からだきを防止する器具ではありません。使用方法にしたがって正しくお使いください。



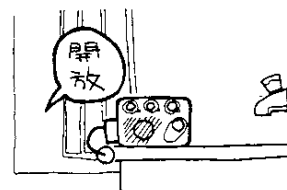
風呂釜に点火したまま絶対に出しな  
いでください。  
ブザーが聞こえないところにいると沸  
かしすぎたり、火災の原因になります。



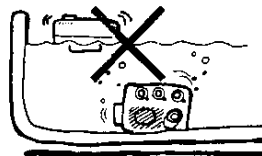
感知部を浴そうの底に沈めて使用しな  
いでください。  
湯が沸いても底の温度があがらず温度  
報知をしません。



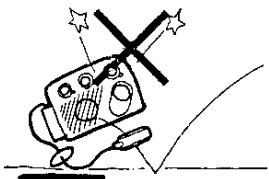
本機は合成樹脂でできていますので高  
温物(釜)の近くに置きますと変形した  
り、故障の原因となりますので置か  
ないでください。



風呂ブザーが正常であっても、戸の枚  
数や浴室の密閉度によってブザーが聞  
こえにくくなりますので、使用中はで  
きるだけ戸を開放して、よく聞こえる  
ようにしてください。



水中に落としたり、浮かべたりしない  
でください。



落下等強い衝撃を与えないでください。  
故障の原因となります。

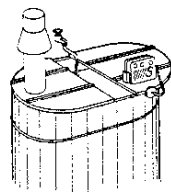
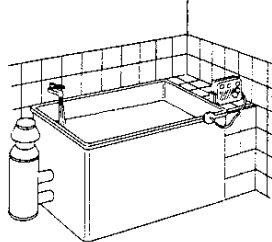
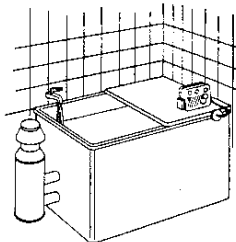
# 風呂ブザーの使いかた

## 感知部のセットのしかた

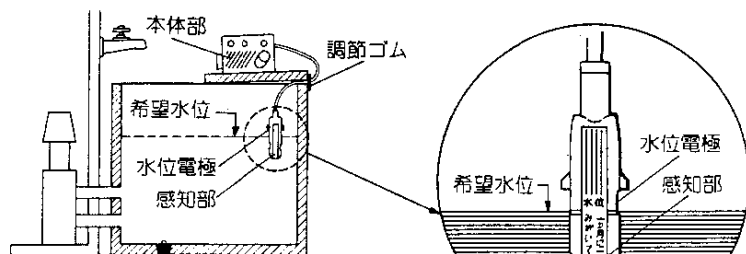
● 2枚ふた等の場合

● 1枚ふたの場合

● おけ風呂の場合

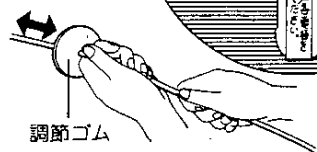


感知部は水道蛇口、外だし釜の上部循環口、または内だし釜からできるだけ離してください。

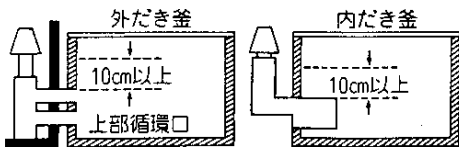


感知部のセットのしかたは絵のようにしてください。

調節ゴムを動かして感知部の水位の線が希望水位になるように調節する

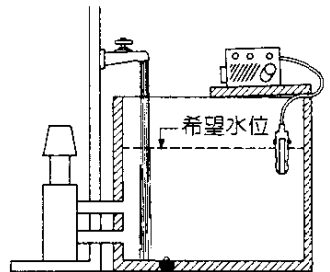
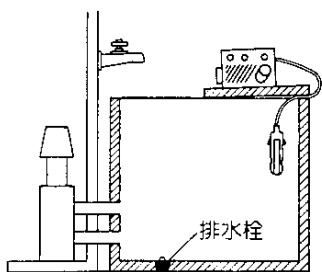
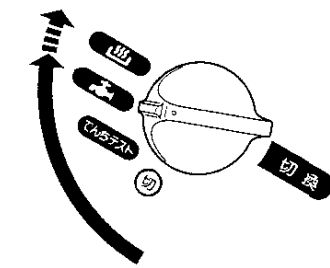
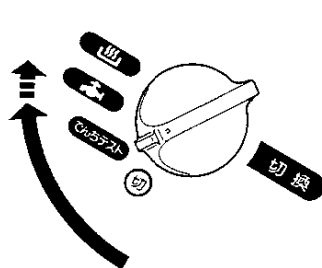


希望水位は風呂釜をいためないために外だし釜の上部循環口または内だし釜の上面より10cm以上になるように調節ゴムで感知部の位置をきめてください。



## 水を入れる前の確認

## 水を入れるとき(水位報知)



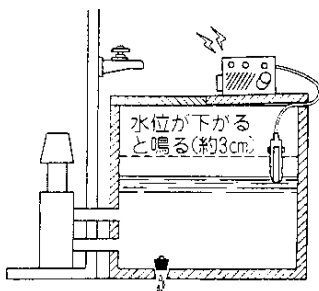
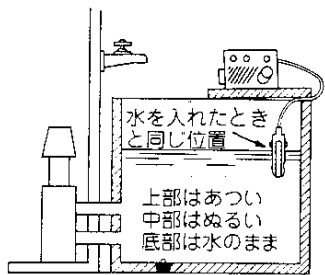
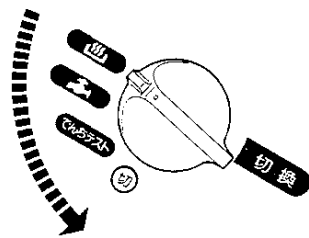
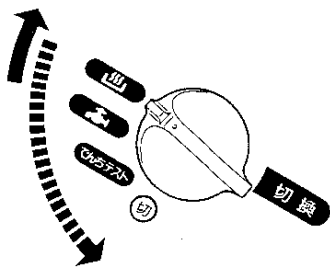
1. 浴そうの排水栓がしまっているか確かめる
  2. 切換えスイッチを「入」の位置で約3秒間、音の鳴ることを確かめてから「切」の位置にする
- 「入」の音が小さくなら早めに新しい乾電池と取り替えてください。
  - 「入」は風呂ブザーの乾電池寿命の確認用で、ラジオの乾電池寿命の確認はできません。

1. 感知部を調節ゴムで希望水位にセットする
  2. 切換えスイッチが「入」の位置にあるか確かめる
  3. 水を入れる(希望水位になるとブザーが鳴る)
- ブザーが鳴ると、注水を止め切換えスイッチを「切」の位置にする
- 感知部の位置は動かさず水位報知をした場所でそのまま温度報知に移ってください。位置を変えようと水もれ報知をしたり正しい温度報知ができない場合があります。

## 風呂を沸かすとき(温度報知)

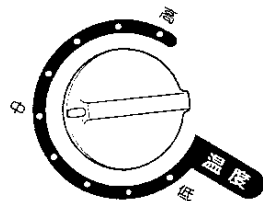
## 水もれしたとき(水もれ報知)

## 温度調節のしかた

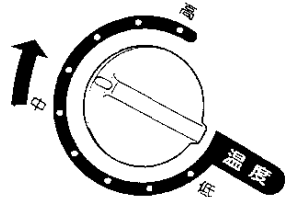


1. 切換えスイッチが「**出**」の位置にあるか確かめる
  2. 点火する(希望温度になるとブザーが鳴る)
  3. ブザーが鳴ると、火を消し切換えスイッチを「**切**」の位置にし、お湯をよくかきまぜる
- ブザーが鳴るまでかきまぜないでください。  
途中でかきまぜますとお湯が熱く沸きすぎます。

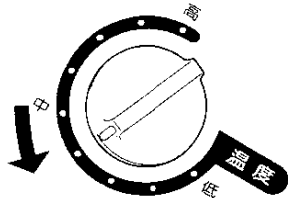
切換えスイッチが「**出**」の位置のとき水がもれて水位が感知部の漏水電極(下側の電極)より下がるとブザーが早い断続音で鳴ります。  
ガスを止めスイッチを「**切**」の位置にし水もれ箇所を調べて直してから再び希望水位まで水を入れ沸かしてください。



はじめてご使用になる時は、温度目盛を「中」の位置にしてご使用ください。  
沸きあがったお湯をよくかきまぜて、《ぬるい》《あつい》を確認してください。



《ぬるい》ときは  
次の使用時に温度つまみを「高」の方へ1目盛位まわしてください。



《あつい》ときは  
次の使用時に温度つまみを「低」の方へ1目盛位まわしてください。

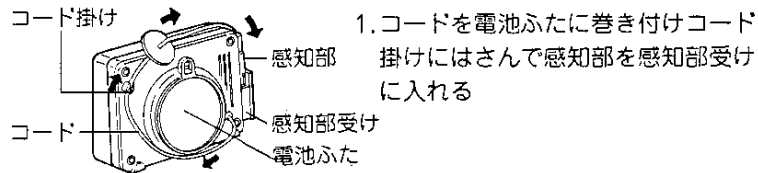
- 前日の湯を再び沸かすときは、多少湯が熱くなります。
- 季節により水温が変わりますので温度つまみで調節してください。(夏は1~2目盛低めに、冬は1~2目盛高めを目安にしてください。)
- セントラル給湯器や太陽熱温水器等でお使いになる場合、給水、給湯時切換えスイッチを「**出**」の位置でご使用ください。温度報知には使用できません。

※本機は据置き形です。

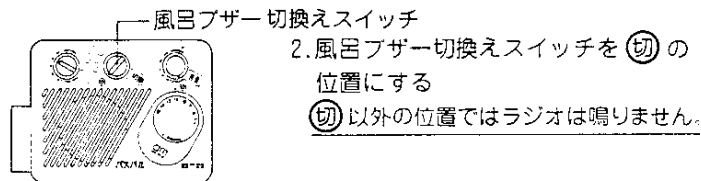
(万一、本機を吊り下げる場合は、落下防止のため必ずねじ固定式のL字形フックをご使用ください。)

## ラジオの使いかた

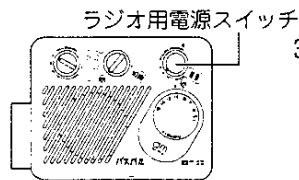
- ラジオをご使用になるときは落下しないよう安定した場所に置いてください。



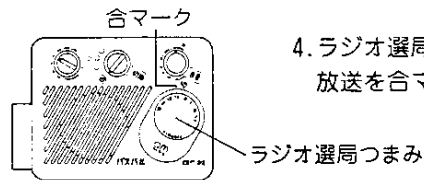
1. コードを電池ふたに巻き付けコード掛けにはさんで感知部を感知部受けに入れる



2. 風呂ブザー切換えスイッチを**切**の位置にする  
**切**以外の位置ではラジオは鳴りません。



3. ラジオ用電源スイッチ(音量調節符)を入れ適当な音量に調整する  
(音量調節はラジオ用のみで風呂ブザーの音量調節はできません。)



4. ラジオ選局つまみを回してご希望の放送を合マークにあわせて選ぶ

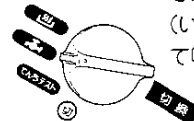
- ラジオを聞かないときはラジオ用電源スイッチを切の方向へパチッと鳴るまで回してください。
- 本機に内蔵のフェライトアンテナには指向性があります。本機の向きを変えて最もよく聞こえるようにしてください。
- 建物などの中では電波が弱まり聞こえにくくなることがありますので、できるだけ窓ぎわでお聞きください。
- 音がはずんだり、小さくなったときは、早めに新しい乾電池と取り替えてください。

## 使用時のご注意

- 次の状態は正常な働きです。「故障!」ではありませんのでお間違いのないようご注意ください。

水が入っていないのに水位報知が鳴る

- 感知部の電極を指で触れたとき
  - 感知部に水滴やしぶきがかったとき  
(いずれも電流が流れて鳴り出します。)

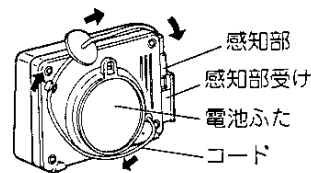


湯が沸いていないのに温度報知が鳴る

- 感知部が水中になく、空気中に出ているとき(空気中では水もれ報知となり鳴り出します。)
- 感知部の電極が水あかなどで汚れているか油が付着している

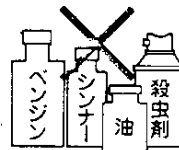
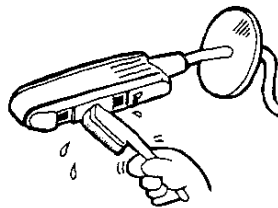


### ■ご使用後は



- コードは電池ふたの外周部に巻きつけたのち感知部を感知部受けに収納してください。
- 浴室外の湿気の少ない所に保管してください。

### ■日常の点検、手入れ



感知部の各電極は長時間使用しますと、油や赤い水あかが付着して器具の働きが低下してきます。

1カ月に1回くらい各電極を古い歯ブラシなどで磨いてください。







本器の汚れをとるのに絵のようなものは使用しないで乾いた布でふいてください。

- 長時間ご使用にならないときは、乾電池を器具から取り出しておいてください。



# 故障、異常の見分けかたと処置方法

次の表に従って調べていただき、直らないときには、後の処置をしてください。

## ●風呂ブザーが正しく働かないとき

症状	原因	処置
音の確認でブザーが鳴らない (  の位置)	●乾電池が消耗している	●乾電池を取り替える
水が入っても鳴らない (  の位置)	●乾電池が消耗している ●感知部の電極が水あかなどで汚れているか、油が付着している	●乾電池を取り替える ●各電極の汚れを歯ブラシなどでとりのぞく
水が入っていないのに鳴る (  の位置)	●水のしぶきで電極がぬれている ●手で電極をさわったとき	●蛇口など水しぶきのかかりやすいところから遠ざける
お好みの温度になっても鳴らない (  の位置)	●乾電池が消耗している ●感知部の位置が深すぎる ●温度つまみの矢印の位置が高すぎる	●乾電池を取り替える ●釜または上部循環口より上にセットする ●温度つまみの位置を(低)の方にまわす
湯がわいていないのに鳴る (  の位置)	●感知部の電極が水あかなどで汚れているか、油が付着している ●感知部の共通電極が水面から離れている	●切換えスイッチを切り、各電極の汚れを歯ブラシなどでとりのぞき、再び  に合わせる ●感知部を水中に入れる

## ●ラジオが正しく働かないとき

症状	原因	処置
スイッチを入れても鳴らない	乾電池が消耗している	乾電池を取り替える
	乾電池の入れ方を誤っている	乾電池の  を正しく入れる
	風呂ブザー切換えスイッチが  の位置にない	切換えスイッチを(切)の位置にする

(風呂ブザー切換えスイッチが(切)の場合のみラジオが聞けます。  
また蛍光灯の近くで使うと雑音が入る場合があります。)

- お求めの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有償で修理致します。

## ※補修用性能部品の最低保有期間

ラジオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- アフターサービス等について、おわかりにならないときお求めの販売店または最寄りの大阪ガス本社、又は支社にお問合わせください。

## ■乾電池の上手な使いかた

- 乾電池は、ときどき休ませた方が連続して使うよりも、長く使用できます。ウルトラネオ乾電池は連続使用に強く、休ませてもそれほど変わりません。
- 乾電池を使用される時は、寒いところより暖かいところの方が長持ちいたします。しかし、保存される時は涼しい湿気の少ないところの方が長持ちいたします。

## ■乾電池の使いかたを誤りますと液もれて器具を傷めたり、破裂することがありますので、次のことにご注意ください。

- 乾電池は、⊕プラスと⊖マイナスをまちがえないよう正しく入れてください。
- 新しい乾電池と、使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 同じ種類の乾電池を使用し、違う種類(例えばネオハイトップ乾電池とウルトラネオ乾電池)を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は、充電・ショート・分解・加熱や、火の中へ投入しないでください。
- 使い切った乾電池は、すぐに器具から取り出して処分してください。
- ご使用後は、必ずスイッチを切ってください。